

～姉妹イベントのご案内～  
**K-CAR MEETING 2015**  
**[ジムカーナステージ]**  
 日時： 7月12日(日)、10月18日(日)  
 会場：名阪スポーツランド  
 主催：KCテクニカ

名阪復活

NA660選手権・車両規定

■概要

1. ナンバー付き車両に限定  
維持費の安いKカーのメリットを、最大限に活用。公式戦でいうところの、『Nゼロ』をイメージしています。レースや練習のたび積載車を借りるよりも、結果的にコストを抑えられることを考えております。  
車検を取得していない車両の場合は、以下の車両規則に従い、公道を走行出来る状態と同等な仕様でなければなりません。
2. タイヤはラジアルに限定  
Sタイヤは摩耗が早く価格も割高、さらに路面コンディションによりコンパウンドを変えなければいけません。そこで全クラスともラジアルタイヤ限定とし、参戦費用が抑えられることを考えております。
3. エアコンを外すのは禁止  
せっかくのナンバー付き、おまけに燃費もイイ新規規NAなので、通勤をはじめとした街乗りにも使うオーナーが大半と思われる。そこで、快適性を大きく損なうエアコン外しは当然ながら禁止とします。

■エンジン系

- 1-1：エンジン本体  
純正部品の旋盤加工／溶接／研磨など機械加工は禁止。ピストンは純正スタンダードサイズに限り使用でき、排気量アップは認めません。カムシャフトなど部品の交換も同様です。またエンジンを載せ換える場合は、車検証上で同一型式（構造変更が必要ない場合）なら気筒数や年式に関係なく認められます。
- 1-2：フライホイール  
①④クラス：加工や変更を許可します。  
②③クラス：加工や変更を禁止する。
- 1-3：エンジンマウント  
エンジンマウントは無加工で交換できる製品に限り変更OKです。ただしエンジンマウント位置の変更などはすべて認められません。（樹脂の注入は可能）
- 1-4：ラジエーター関連  
ラジエーター、サーモスタット、ラジエーターキャップ、ラジエーターホースの変更は認めます。水温計センサーを取り付けるための、ラジエーターホースへの加工もOKです。ラジエーターファンを強制的に作動させる、ON/OFFスイッチの装着も問題ありません。
- 1-5：オイルクーラー関連  
オイルクーラーの装着は認めますが、フィルターを移動する場合は安全な位置でなければいけません。油温計や油圧計のセンサーを取り付ける加工、オイルパンの容量アップやパッフル加工も安全であれば認められます。
- 1-6：バッテリー  
バッテリー位置の変更は認めますが、重量に耐えうる台またはホルダーを使い、確実に固定して下さい。室内に移動する場合は、ドライバッテリーを除き金属板で隔壁しなければなりません。容量および取り付けブラケットの変更も可能ですが、ボディにアースされてない側の端子(+)は短絡を避けるため、確実な方法で絶縁することを忘れずに。
- 1-7：ECU  
③クラス：スピードリミッターカット装着までが認められます。  
②クラス：ツマミボリューム式のボン付け燃調コントローラーへの変更が可能。  
①④クラス：通信サブコン、フルコンの変更が認められます。
- 1-8：点火系  
①②④クラス：ハイテンションコードやプラグの変更、またアーシングなど点火系パーツの装着は認められます。同時点火への変更も可とします。  
③クラス：点火方式の変更は認めない。プラグやプラグコードは変更可能。
- 1-9：燃料系  
燃料タンクの加工、コレクタータンクの装着はすべて認められます。インジェクター容量や燃料ポンプ吐出量の変更も不可です。
- 1-10：吸気系  
エアクリーナーボックスやバイパスの変更が認められます。エアクリーナー本体は剥き出し、純正交換のどちらでも構いません。耐熱バンテージや導風板の装着もOKです。

- 1-11：スロットルボディ  
①④クラス：スロットルボディの加工や変更を認める。  
②③クラス：スロットルボディの加工や変更を認めない。
  - 1-12：排気系  
②③クラス：純正エキゾーストマニホールドと純正触媒を必ず使用し、一切の加工を禁止する。  
①④クラス：排ガスや音量など、保安基準に適合する範囲内であれば、マフラーやエキマニを自由に変更できます。触媒は必ず装着して下さい。
- 足まわりとブレーキ
- 2-1：ブッシュ類  
強化品への変更が認められます。
  - 2-2：スプリング  
自由長やレートの変更は自由ですが、レース後に実施する公道走行チェックの際は、9cm以上の最低地上高が確保されており、縦方向に遊びがない状態でなければなりません。  
※レース中は最低地上高が9cm以上である必要はありません。
  - 2-3：ダンパー  
倒立式や別タンク式を含めて、変更が認められます。材質は自由で、減衰力を室内から調整するコントローラーも使用できます。
  - 2-4：サスペンションアームなど  
調整式サスペンションアームなどの使用は認められますが、取り付け位置の変更や加工はすべて不可とします。また、調整式のピロアッパーマウントも使用できます。
  - 2-5：制動装置  
ポルトオンで装着可能なブレーキパッド／ローター／ホース／キャリパー／マスターシリンダーなどの装着が許されます。またバックプレートの取り外しは認められ、マスターバックの取り外しは認められません。
- 駆動系
- 3-1：クラッチ  
ディスク/カバー/ホースの変更がOKです。
  - 3-2：トランスミッション  
①④クラス：ファイナルギヤを含め、変更が認められます。  
③クラス：ファイナルギヤを含め、変更および加工が認められません。  
②クラス：改造範囲を以下のような選択制とする。  
②-A：ギア比を変更でき、タイヤの規定は③クラスに準じる。  
②-B：ギア比を変更せず、タイヤの規定は①クラスに準じる。
  - 3-3：ディファレンシャル  
③クラス：機械式LSDの使用は認められません。  
※ その車種にオプションなどで設定されている純正のビスカス／トルセン／ヘリカル式LSDは使用できます。  
①②④クラス：機械式LSDの使用が認められます。
  - 3-4：駆動方式  
①④クラス：ベース車両の駆動方式を変更することが出来る。  
②③クラス：ベース車両の駆動方式を変更することが出来ない。
- タイヤ&ホイール
- 4-1：タイヤ&ホイール  
タイヤ&ホイールを変更する場合は、下記の要件をすべて満たさなければなりません。  
A) タイヤサイズは自由ですが、4輪は同一のサイズとします。  
B) ホイールのオフセットは、由で、4輪とも同一である必要はありません。  
C) ホイールナットの材質および形状の変更は許されます。  
D) タイヤへの加工は認められません。  
E) ホイールスプーサーはハブボルトに固定できるタイプのみ認めます。  
F) タイヤおよびホイールはいかなる場合も他の部分と接触してはいけません。  
G) レース終了後を含み、スリップサインが出てはなりません。
  - 4-2：使用タイヤ  
タイヤは市販ラジアルのみ、Sタイヤおよびスリックタイヤは禁止。①②④クラスは、すべての市販ラジアルタイヤを使用できるが、③クラスは以下に記載したタイヤを使用できない。タイヤは予選と決勝を通じて4本しか使用できず、車検時にマーキングが施される。バンク時のみ事務局に申し出て交換する事を認める。  
②クラスのタイヤ規定  
③クラスと②-Aで使用禁止のタイヤ  
ブリヂストン：ポテンザRE-11、RE-01R、RE-01  
ヨコハマ：アドバン・ネオバAD08、AD07、AD06  
ダンロップ：ディレツツァZ2、Z1スターズベック/Z1  
トーヨー：フロクセス（トランビオ）R1R  
ファルケン：アゼニスRT615、RT215  
グッドイヤー：イーグルRSスポーツ  
クムホ：エクスタV700  
ハンコック：ヴェンタスR-S3  
フェデラル：595RS-R  
※上記のタイヤ以外でも、年代に関わらずいゆるトップグレードのハイグリップラジアルは禁止とします。また、使用できないタイヤは追加になる可能性があります。

■ボディ

- 5-1：ボディ補強  
ポルトオンの補強バーなどを取り付けることは認められますが、スポット増しを始め溶接などによるボディ補強はすべて禁止です。
- 5-2：ロールゲージ  
全クラス：セツラルローカルルールに基づき、6点式以上のロールゲージ装着を強く推奨する。未装着でも出場可能とするが、5-4の軽量化の項目に注意
- 5-3：モノコック  
モノコックの変更および改造は認めません。
- 5-4：軽量化  
6点式以上のロールバーを装着していない車両は車体重量をイコールコンディションに近づけるため、以下のルールが適用されます。  
・ボンネットやリヤゲートなど、軽量ボディパーツの使用を禁止します。  
・レース中に助手席や後部座席を取り外してはならず、さらに助手席は純正またはセミバケットシートを装着しなければなりません。  
・レース中もスペアタイヤを搭載しなければなりません。

■外装

- 6-1：自動車登録番号標（ナンバープレート）  
レース中のみ取り外しや変更が認められます。
- 6-2：空力装置（エアロパーツ）  
保安基準に抵触しない限り問題はありませんが、ボディ幅が軽自動車のサイズを超えるフェンダーなどは認められません。たとえ構造変更を行なったとしても禁止とします。
- 6-3：ガラス  
フロントガラスを変更する場合は、新車時に装着されていたものと同じ合わせガラスに限り認めます。アクリルガラスの使用はフロント／サイド／リヤとも認められません。フロントおよびフロントサイドガラスへの塗装、色付きフィルムへの貼り付け、ステッカーの貼り付けはすべて認められません。サイドおよびリヤガラスは保安基準に抵触せず、かつ視界の妨げとならない限り、色付きフィルムやステッカーの貼り付けを認めます。
- 6-4：ボンネットおよびリヤゲート  
6点式以上のロールゲージ装着車に限り、安全な範囲での変更および加工が認められますが、ボンネットピンなど確実な方法で固定して下さい。リヤゲートのダンパーはガスを抜き、ピンで固定することを推奨します。
- 6-5：ミラー  
室外ミラーの変更を認めます。

■内装

- 8-1：エアコンおよびヒーター  
エアコンおよびヒーターの取り外しは認められず、いかなる場合においても正常に作動しなければなりません。
  - 8-2：補助メーター  
電気式メーターに限り、追加メーターを装着することが認められます。ただし純正メーターは当初の機能を保持していなければなりません。取り付け方法及び位置に関しては、乗員の保護と視界の確保を考慮して下さい。
  - 8-3：座席  
バケットシートへの変更を認めます。ただしシートを車体フレームへ直に取り付け、スライド機構がないものは認められません。また6点式以上のロールゲージ装着は、レース中に運転席を認めシートを取り外せません。
  - 8-4：ステアリング  
ステアリングボックスを含め、保安基準に抵触しない範囲での変更が認められます。なおエアバック付き車両は、レース中はエアバックコンピューターのコネクタを外し、作動をキャンセルさせなければなりません。
  - 8-5：シートベルト  
シートベルトは確実な方法で装着しなければならず、シートレールへの共締めは禁止。  
②③④クラス：3インチ幅で4点式以上のシートベルトを強く推奨します。  
①クラス：4点式以上のシートベルトの装着を義務付けします。
  - 8-6：室内ミラーに被せるタイプのミラーは、. .中に限り取り外して下さい。
- 詳しくは下記のURLへアクセスして下さい。  
<http://www.mavericks.jp/> ←大会のコンセプトも掲載しております。

西日本最大の参加型模擬レース！



9月12日(日)  
Rd 2 開催！

岡山国際サーキットで開催！